

学校の活動の様子を詳しくホームページに掲載しています。<http://www.school.umic.jp/nishiuchi/>（「西内小学校」で検索）ぜひご覧ください。スマートフォン、パソコンどちらからでもご覧いただけます。

学校だより No. 9

上田市立西内小学校



われら西内小学校



令和元年12月17日

音楽でつながる 西内小音楽祭

お祭りのイメージとはどんなものでしょう。何人かの子に聞いてみました。子どもたちからは、「たくさんの人が集まる」「いろんな人が集まる」「みんなが笑顔」「にぎやか」「楽しい」そんな言葉が返ってきました。先週12月14日の西内小学校音楽祭は、たくさんの人が集い音楽を楽しむ、多くの笑顔があったにぎやかな音楽のお祭りとなりました。

全校児童によるオープニング曲

「LET'S GO いいことあるさ」の歌いだしの一声で音楽祭の雰囲気ができました。張りのある声で、子どもたちの音楽祭への期待、やる気を感じられました。



1・2年生はインフルエンザ流行のピンチを子どもたちと職員のチームワークで乗り越えました。ピンチをチャンスに替え、子どもたち同士、子どもたちと職員の信頼感は一層高まりました。カスタネットのリズムは魅惑的でした。

3・4年生のソロや二人で歌うパートは素晴らしかったです。透き通った優しい歌声は聴く者の胸を打ちました。優しい歌い方は「赤いやねの家」の曲の感じを理解し、表現しようとしていたからできたのでしょうか。表現力豊かな3・4年生です。

5年生の合奏はメロディを打楽器のリズムが支えていました。ドラムセットを発表に使うのは金管クラブがある学校だからこそでしょう。複雑なリズムと「キリマンジャロ」の軽快なメロディの融合がありました。金管で頑張っているからこそできたステージでした。

6年生は英語詩の曲にチャレンジしました。美しさに加え力強さのある歌声はさすがです。音楽と外国語の学習をつなぐという価値もあります。合奏は音の重なり的美しさがありました。6年生の聴きごたえのある演奏は音楽祭全体を引き締めてくれました。

合同バンド、音楽クラブの皆さんには、迫力のある演奏で音楽祭に花を添えてもらいました。来入児のみなさんのリズムの動きもかわいかったです。金管バンドは顧問が痩せる思いで新曲を披露し、最後まで進化しようとする姿勢を見せてくれました。エンディング曲における子どもたちと会場の皆さんのハイタッチは、音楽祭の感動を分かち合う場となりました。

保護者の皆様には子どもたちの演奏を熱い視線、温かい拍手で応援していただきました。来賓、地域の皆様には温かく子どもたちを見守っていただきありがとうございました。連絡やお願いのアナウンスにまで大きな拍手を頂戴し、恐縮するとともに西内小音楽祭の温かさを感じさせていただいたと思います。

西内小学校の子どもたちを中心に、音楽で多くの人が集いつながるすてきな音楽祭になりました。ご支援・ご協力ありがとうございました。

音楽祭に至る

西内小音楽祭の子どもたちの発表は、普段の音楽学習の成果を表すものとして位置づけました。発表のための音楽ではなく、音楽を楽しむ子どもたちの姿、音楽を楽しみながら会場の皆さんとつながる音楽祭をめざしました。当日は来場の皆さんにそんなところが伝わっていれば幸いです。

ここでは、音楽祭に向かう子どもたちの活動の様子、人がつながり集う様子をお伝えしたいと思います。本来なら普段の音楽学習からお伝えするところですが、紙面が限られますので3日前からいきます。

12月11日（水） 音楽祭3日前

西内の時間の音楽集会では、音楽祭のオープニングの曲「LET'S GO いいことあるさ」を歌いました。インフルエンザの流行があってマスクをつけての音楽集会でした。「LET'S GO いいことあるさ」は1970年代後半から1980年代前半にかけて一世を風靡した、アメリカのディスコグループ、ヴィレッジ・ピープルの代表曲の1つ「Go West」のカヴァー曲です。子ども番組の挿入歌としてカヴァーされました。懐かしく聴く方も多いのではないかと思います。世代を超えて楽しめる、それは音楽のよさでしょう。音楽集会では音楽に乗って楽しく歌う子どもたちの様子がありました。自然と体を動かして、リズムをとって歌う子どももたくさんいました。歌いながら楽しく気持ちが高まっていく、そんな様子がありました。音楽祭への期待も同時に高まっていくようでした。



12月12日（木） 音楽祭2日前

音楽集会で音楽祭のエンディング曲「ありがとうの花」「手をつなごう」「パプリカ」を歌いました。進行や呼びかけを含めて練習しました。「ありがとうの花」「手をつなごう」は穏やかな優しい曲で、曲の感じを表して歌う子どもたちの様子がありました。一転「パプリカ」は元気な、アップテンポの曲です。運動会ではダンスを披露しました。音楽祭ではダンスに加えて歌をつけて発表します。発表がグレードアップしているように、子どもたちも春から冬にかけてグレードアップしているように思います。「パプリカ」では会場の皆さんとハイタッチする場面があります。子どもたちはステージを降りて、エアハイタッチをしながら会場内をめぐりました。聴いていただく方を想定して、相手意識をもつ機会となったように思います。

12月13日（金） 音楽祭前日

1時間目

1時間目は3～6年生で音楽祭の会場準備をしました。音楽祭は昨年度とステージの位置が変わります。伴って座席の位置も大幅変更となりますので、見通しがもちにくい作業でした。ですが、子どもたちはきびきび動いて、素敵な会場ができました。たくさんの椅子を特別教室等から運び、きれいに並べました。来場の保護者様、地域の皆様、そして音楽祭のためによく働きました。



音楽集会

音楽集会では、オープニング曲、エンディング曲を通して歌いました。椅子が並べられ整った会場での練習は、音楽祭を意識したものになりました。指導担当からも、相手を意識した呼びかけをとの指導がありました。練習終わりに、担当から明日の音楽祭がんばろうとの投げかけを受け、改めて気持ちを高めている様子の子もたちでした。

3時間目

1・2年生の最後のステージ練習でした。1・2年生は「いるかはざんぶらこ」で歌とバンブーダンスを披露します。「来入児の皆さんも一緒に手拍子をしてみてください」との呼びかけで、来入児さんも楽しめる場面を用意しています。いるかのリズムで楽しく歌ったり、バンブーダンスをしたりする子どもたちの姿がありました。明日は1・2年生と来入児さんのどんなセッションが見られるか楽しみです。

4時間目

3・4年生の最後のステージ練習です。3・4年生はしっかり発表のときの動きを確かめました。

動きを確かめることで、自信をもってステージに立つことができるでしょう。「赤いやねの家」はソロや二人で歌うパートがあります。優しい歌声に、いい曲だなあと改めて感じ入り、自宅に引っ越してくる前に住んでいた家のことを思い出しました。堂々と自己表現できる子どもたちの姿が印象的でした。

5時間目

5年生の最後のステージ練習です。合奏「キリマンジャロ」はリコーダーや鍵盤ハーモニカ、木琴、キーボードの優しいメロディをバスやドラムのリズムが支える演奏で、子どもたちも自信をもってやっている様子がありました。演奏が終わると担任と子どもたちで振り返り、どんなところに気をつければいいのか最終確認をしながらの最終ステージ練習でした。金管で頑張っている子どもたちの演奏は聴きごたえがあります。

6時間目

6年生の最後のステージ練習です。合奏「ラバース・コンチェルト」を聴く5年生の姿がありました。5・6年生は互いの演奏を聴き合いながらのステージ練習でした。5・6年生の姿から、音楽祭には演奏する楽しみに加えて聴く楽しみがあることに気づかされます。6年生の演奏を憧れのまなざしで見、音楽に聴き入る5年生の様子がありました。合唱「Oh Happy Day」は英語詩の歌を声量豊かに響きのあふれる声で歌っています。さすがです。

放課後

金管バンドの子どもたちは合同バンドの練習に参加し、明日の準備に余念がありません。金管バンド、O・B・O・Gが奏でる演奏は大迫力です。金管につながりこれだけの子ども、青少年が集うのは、音楽の力、そして西内小学校が築いてきた伝統の力を感じます。音楽につながり、多くの人が集い始めています。お祭りの雰囲気できてきました。夜には西内音楽クラブの練習もあります。いよいよ音楽祭が明日開幕です。



12月14日(土) 音楽祭当日朝

学校では低学年でインフルエンザの流行がありました。音楽祭当日インフルエンザ罹患児童は0になったのですが、当日まで全員そろってステージで練習することができないでいました。当日朝、始業前に全員そろったところでステージ練習をしました。

朝早い時間ですが、子どもたち、担任、副担任、支援員でステージ上での動きなどを確認しました。インフルエンザで登校できない子たちを副担任が演じ、練習の様子を映像に収めて事前に自宅で観てもらっていました。そのため、スムーズに最終確認が行われました。子どもたち、職員が力を出し合って音楽祭に臨みます。



このように子どもたち、職員、地域の皆様の取組からよい音楽祭になり、音楽祭当日はそれぞれのすてきな物語が生まれるように思われました。よい音楽祭に向けての活動ができました。

本学校だより冒頭の話題につながります。

地域をつなぐ 復興応援コンサート

11月17日、金管バンドの皆さんが復興応援コンサートを開きました。学校体育館で手作りのコンサートです。

台風19号の襲来により平井・西内地区も大きな被害を受けました。復興作業に取り組む地域の皆さんを自分たちの音楽で励ましたい、勇気づけたいとの願いから開かれたコンサートです。

子どもたちは当日までにコンサートの計画、チラシ作成、チラシ配り、会場準備など自分たちの力で準備を進めてきました。当日はおよそ150名の皆さんにご来場いただき、金管バンドの音楽を楽しんでいただきました。

コンサートでは子どもたちから地区の消防団の皆さんに感謝状が贈られました。感謝状には皆さんのおかげで地区から1人のけが人も出なかったと感謝の気持ちが記されていました。嬉しそうな消防団の皆さんの様子がありました。

金管バンドはアンコール2曲を含め、全10曲を披露しました。地域の皆さんからは「金賞の拍手」として金管バンドに盛大な拍手が贈られました。地域のつながりを作る、確かめられる温かなコンサートになりました。



1月の予定

月	火	水	木	金	土	日
		1 元日 年始休業(~7日)	2	3	4	5
6	7	8 3学期始業式	9	10 校内書初め展 (~17日)	11	12 全小管楽器フェス 北海道大会
13 成人の日	14	15 CR-T 学力検査 (1~5年)	16 全校スキー教室	17 来入児カルタ会	18	19
20	21	22	23 3・4年社会 科見学	24 PTA役員反省会	25	26 アンサンブル 交歓会
27	28	29 命の学級	30 来入児保護者 会②	31 窯入れ		

【登校日数17日(累計177日)】

- ・全校スキー教室は冬の自然、冬のスポーツに親しむ機会です。準備へのご協力をお願いいたします。
- ・寒さが厳しくなる時期です。体調管理にご留意ください。

学校では不祥事根絶に向け、服務規律の遵守に努めていくように、非違行為防止研修を実施しています。

西内小クイズ

児童会長さんが抱える楽器の名前は何でしょう。

- ① カタツムリ ② 巨大巻きトランペット ③ スーザホン



君にわかるかな？



チネオ

よく考えてね！



チネミ

(答え③)

立奏を前提として設計されており、演奏者を中心として管は大きく円形に巻かれ、大きく開いた朝顔(ペル)は演奏者の後方から立ち上がりほぼ前方または上方を向きます。袈裟懸け状に一方の肩に乗せて演奏され、低音を奏できます。